

# 兵庫県下の経済動向

平成23年11月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは鈍化している。輸出は、緩やかに増加しているものの、その伸びは鈍化している。また、生産も、全体として回復を続けているものの、そのペースは鈍化している。この間、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。設備投資は増加計画にある。

一方で、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が6か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では14か月ぶりに前年を上回った。家電販売は、スマートフォンの販売は引き続き好調であるものの、薄型テレビの販売が地上波アナログ放送停波に伴う更新需要の一巡に伴い大幅に減少していることから、全体としても減少している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度の減少から2011年度は増加する計画となっている。

住宅投資は、分譲が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、独立行政法人等などが増加したものの、神戸市、兵庫県、国などが減少したことから、11か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国、EU、アジア向けとも増加し、2か月連続で前年を上回った。また、輸入については11か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、化学工業、食料品工業、電気機械工業、一般機械工業などの低下により4か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、常用労働者数は前年を下回ったものの、所定外労働時間、一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

8月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数11.1%、遅行指数62.5%となった。

8月の兵庫CIは、先行指数98.5、一致指数95.6、遅行指数105.7となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月ぶり、一致指数が5か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、遅行指数が3か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶりに前月差増となったが、一致指数および遅行指数が2か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は「改善のスピードは鈍化している」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は94.3、前月比3.7%低下。出荷指数は95.0、同1.5%低下。在庫指数は122.7、同0.3%上昇。在庫率は137.1、同6.1%上昇。生産指数は4か月連続、出荷指数は3か月連続で低下、在庫指数は16か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.1%減で22か月ぶりに低下、出荷は2.6%増で2か月連続で上昇した。また在庫は14.9%増で15か月連続で上昇した。

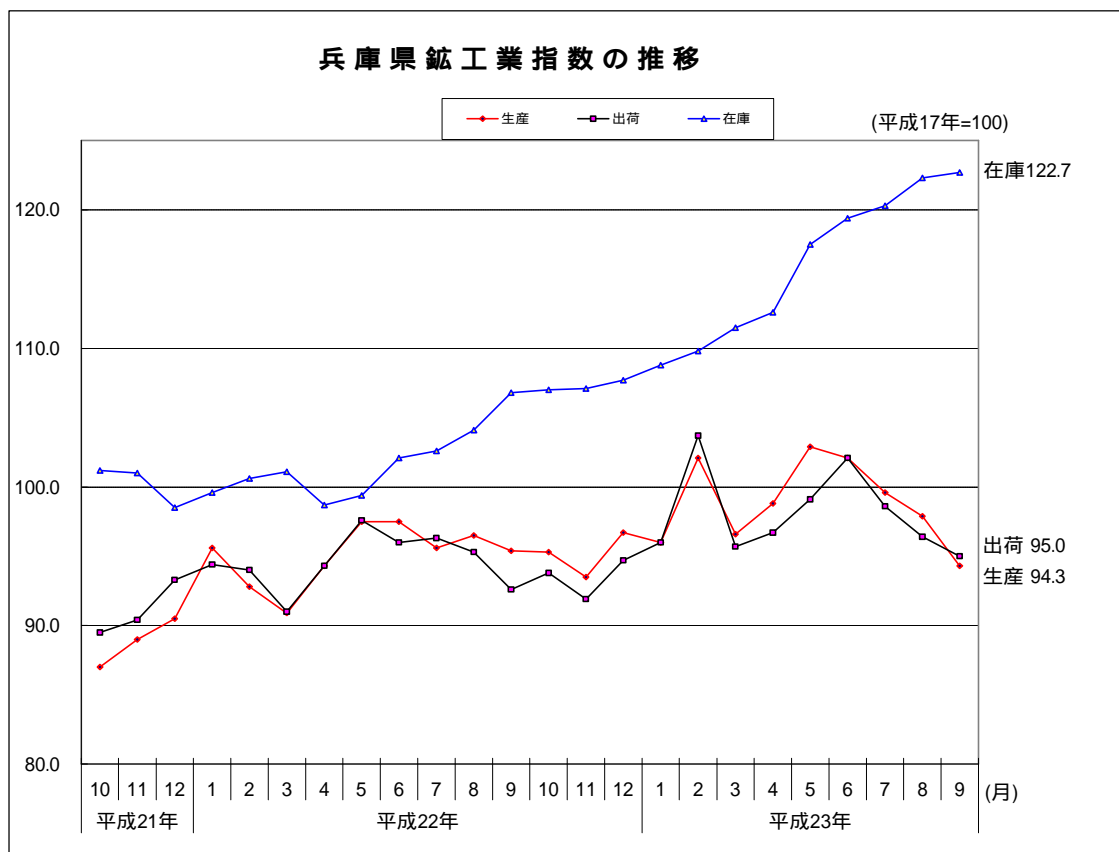
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、アクティブ型液晶素子等の「電子部品・デバイス」が5.6%上昇したものの、医薬品等の「化学」が15.0%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が5.0%、ビール類等の「食料品」が4.8%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が3.3%、粗鋼等の「鉄鋼」が3.1%、ガス風呂がま等の「金属製品」が2.5%、プレイバックロボット等の「一般機械」が2.3%、鋼船等の「輸送機械」が0.8%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移しているものの、一部に弱い動きも見られる」としている。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	94.3	3.7	99.8	1.1
出 荷	95.0	1.5	103.5	2.6
在 庫	122.7	0.3	120.0	14.9
在 庫 率	137.1	6.1	121.8	9.5

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	90.1	3.1	上昇	特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、鋳鋼品、特殊鋼冷けん鋼管、普通鋼鋼管
			低下	粗鋼、鋼半製品、普通鋼冷延広幅帯鋼、銑鉄
金属製品	76.7	2.5	上昇	うす板ばね、ガス温風暖房機、線ばね、鋼索
			低下	ガス風呂がま、ガス湯沸器、石油温水給湯暖房機、超硬チップ
一般機械	105.6	2.3	上昇	水管ボイラ、一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械
			低下	プレイバックロボット、はん用内燃機関、ダイヤモンド工具、ボイラ部品
電気機械	120.2	5.0	上昇	電力変換装置、H I Dランプ、内燃機関電装品、超音波応用装置
			低下	一般用タービン発電機、工業用計測制御機器、リチウムイオン蓄電池、電気がま
情報通信機械	104.7	3.3	上昇	カーナビゲーション、レーダ装置、搬送装置、カーオーディオ
			低下	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、固定通信装置
電子部品デバイス	113.3	5.6	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコントランジスタ(1W未満)、シリコンダイオード、電界効果型トランジスタ
			低下	PDP モジュール、線形半導体集積回路、モス型半導体集積回路(ロジック)、レーザダイオード
輸送機械	71.3	0.8	上昇	船用ディーゼル機関、特装ボデー、特殊自動車、機関部品
			低下	鋼船、二輪自動車(125ml超)、ショベルトラック、懸架制動装置部品
化 学	87.5	15.0	上昇	アクリル酸エステル、自動車廃棄ガス浄化用触媒、ポリスチレン、純ベンゼン
			低下	医薬品、化粧品、石油化学品製造用触媒、塩化ビニル樹脂
食 料 品	94.5	4.8	上昇	パン類、清酒、肉製品、冷凍調理食品
			低下	ビール類、即席めん、塩、めん類

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた10月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.7%減の174億79百万円となり、ほぼ前年並みとなった。6か月連続で前年を下回ったものの、気温の急低下で衣料品の売り上げが増勢に転じた店が多く、この半年間で下げ幅は最も小さかった。

神戸地区では、大丸神戸店、そごう神戸店とも前年比プラス。大丸神戸店は、カード会員向けの優待セールや人気化粧品の催事で客足を伸ばした。姫路・加古川地区では、山陽百貨店の衣料品が前年を上回った。残暑や台風の影響で秋冬物の衣料が振るわなかった前月から一転し、婦人服などが堅調な店が目立った。

ただ、長期的な円高や欧州債務問題による海外経済の不振などで、消費環境は依然厳しい。各店とも年末商戦に期待するが、「東日本大震災の影響もあり、年未年始を派手に過ごすムードも少ない。財布のひもは固いのでは」とみている。

10月の県内百貨店売上高

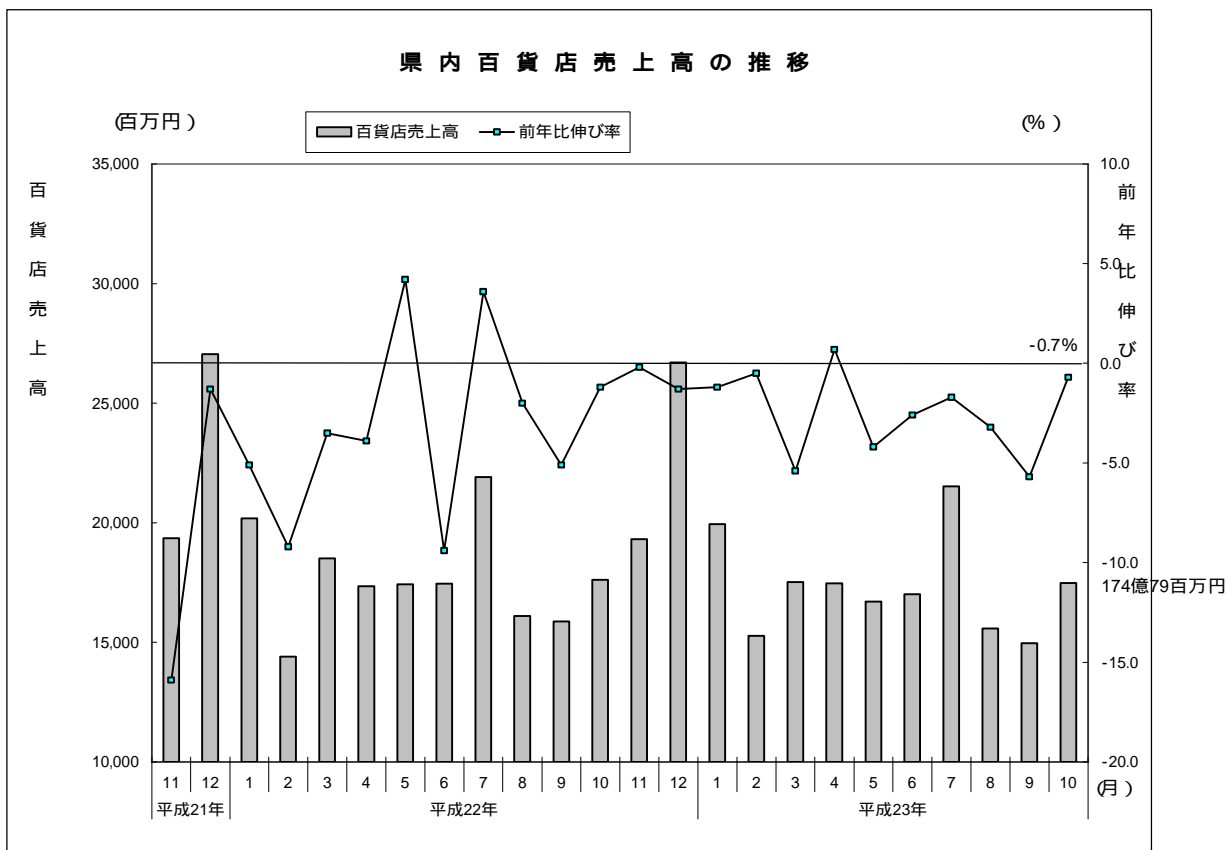
品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	923( 1.9)	209( 6.1)	1,132( 2.7)
婦人服・洋品	4,561( 0.4)	753( 1.1)	5,315( 0.1)
子供服・洋品	517( 2.7)	106( 2.8)	623( 1.8)
身の回り品	1,507( 6.4)	272( 6.2)	1,780( 6.4)
家庭用品	625( 1.4)	166( 4.5)	791( 2.0)
食料品	3,770( 0.7)	799( 3.5)	4,569( 1.2)
雑貨	1,831( 2.7)	420( 0.5)	2,252( 2.0)
その他	729( 3.7)	286( 3.1)	1,015( 1.7)
計	14,467( 0.4)	3,012( 2.3)	17,479( 0.7)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。

\*



## 【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は12,206台、前年同月比26.2%増と14か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

10月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,597台(前年同月比21.7%増)、小型乗用車は4,163台(同28.4%増)、軽乗用車は3,446台(同30.1%増)、乗用車合計で12,206台(同26.2%増)となった。

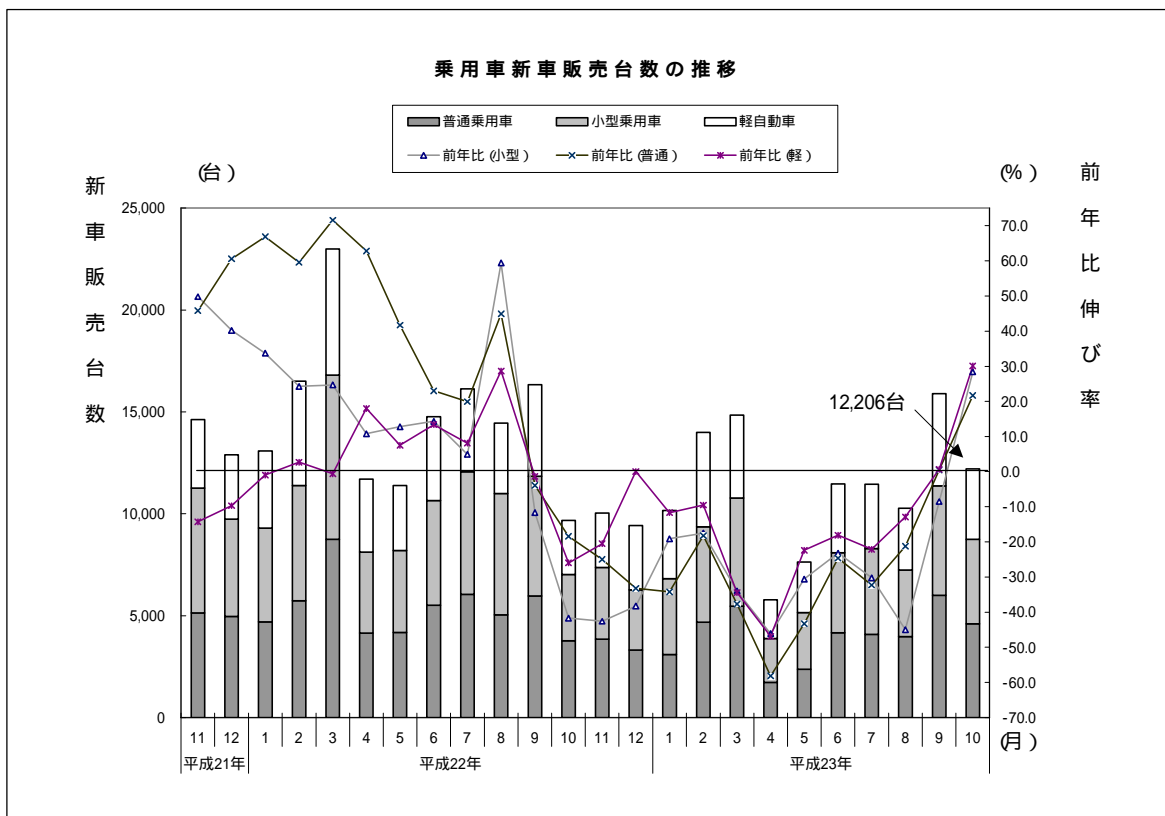
また貨物車等では、普通貨物車は232台(同24.7%増)、小型貨物車は531台(同15.7%増)、軽貨物車は1,155台(同1.8%増)、バスは29台(同70.6%増)となった。

### 10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,597	21.7	106,991	25.1
小型乗用車	4,163	28.4	113,280	31.6
軽乗用車	3,446	30.1	100,502	25.9
乗用車合計	12,206	26.2	320,773	27.5
普通貨物車	232	24.7	9,092	36.4
小型貨物車	531	15.7	17,830	24.7
軽貨物車	1,155	1.8	32,677	4.7
貨物車合計	1,918	7.8	59,599	14.2
バス	29	70.6	734	13.1
登録車総計	14,153	23.4	381,106	25.2

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が11月10日に発表した機械受注統計によると、平成23年9月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年8月前月比6.5%増の後、9月は同3.7%減の1兆9,094億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比11.0%増の後、9月は同8.2%減の7,386億円となった。

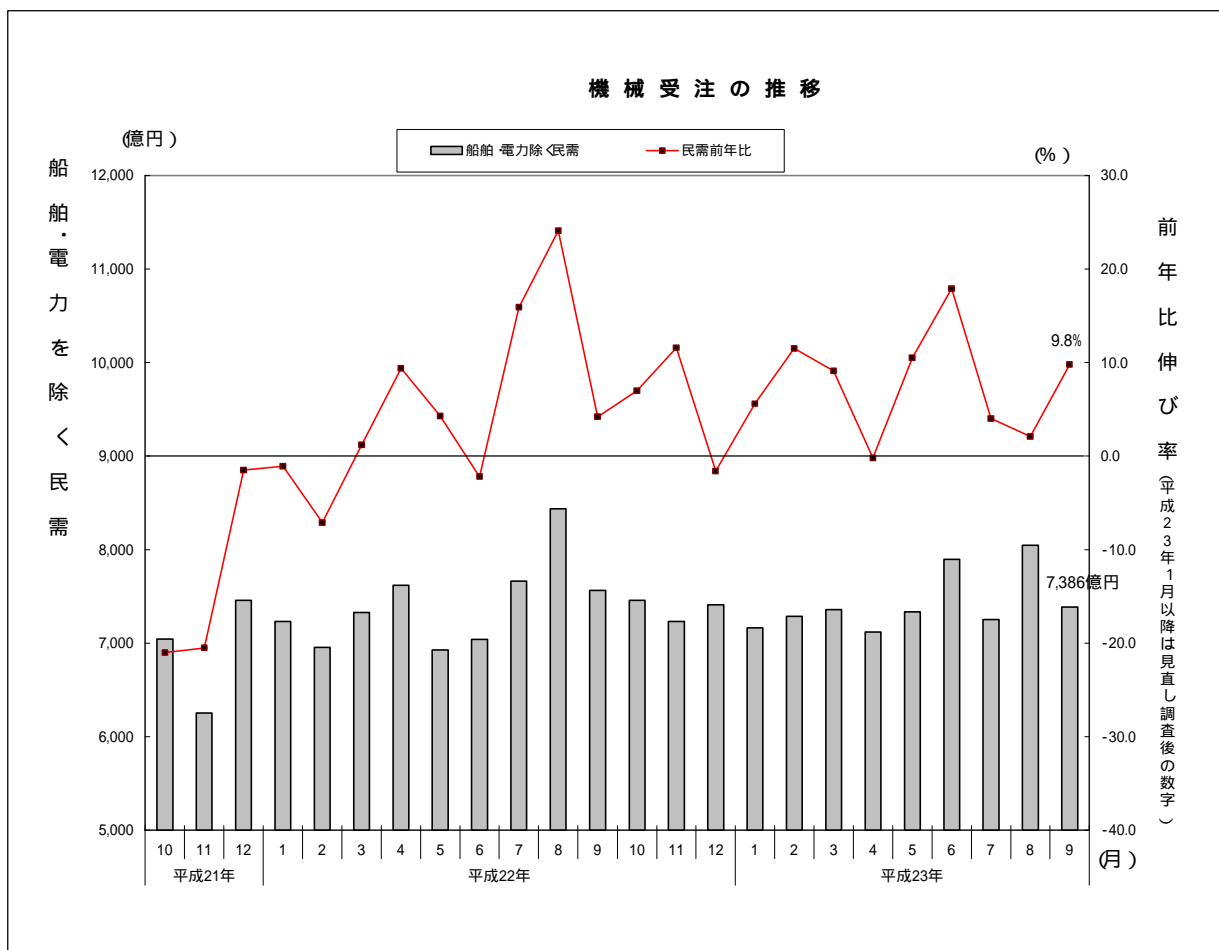
内訳をみると、製造業が同17.5%減の3,061億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同8.5%減の4,466億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、鉄鋼業(55.3%増)、食品製造業(11.3%増)、金属製品(9.6%増)等の4業種で、パルプ・紙・紙加工品(53.4%減)、情報通信機械(40.9%減)、自動車・同付属製品(23.9%減)、非鉄金属(16.2%減)等の11業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(78.3%増)、運輸業・郵便業(42.8%増)、情報サービス業(17.5%増)、建設業(4.5%増)等の6業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(49.5%増)、不動産業(48.6%減)、卸売業・小売業(13.8%減)、リース業(4.9%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年9月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+5.2%(製造業+11.0%、非製造業 10.9%)





機械受注統計（平成23年9月分）

	22年 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	23年 7~9月 実績	23年 6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績
受注総額	59,380 ( 6.5) [ 25.5]	61,589 ( 3.7) [ 15.7]	67,789 ( 10.1) [ 18.8]	61,253 ( -9.6) [ 9.4]	57,557 ( -6.0) [ -2.5]	21,005 ( 5.6) [ 10.4]	18,629 ( -11.3) [ -5.9]	19,834 ( 6.5) [ -3.3]	19,094 ( -3.7) [ 0.7]
民需	26,640 ( 9.5) [ 16.1]	26,554 ( -0.3) [ 13.6]	27,362 ( 3.0) [ 10.8]	27,926 ( 2.1) [ 15.4]	27,091 ( -3.0) [ 3.6]	10,591 ( 19.4) [ 28.2]	8,912 ( -15.9) [ 2.5]	8,593 ( -3.6) [ -10.5]	9,586 ( 11.6) [ 16.4]
” (Ex 船・電)	21,596 ( 5.6) [ 13.9]	20,660 ( -4.3) [ 5.6]	21,813 ( 5.6) [ 8.9]	22,351 ( 2.5) [ 9.8]	22,687 ( 1.5) [ 5.8]	7,897 ( 7.7) [ 17.9]	7,252 ( -8.2) [ 4.0]	8,049 ( 11.0) [ 2.1]	7,386 ( -8.2) [ 9.8]
製造業	9,477 ( 13.2) [ 34.4]	9,314 ( -1.7) [ 11.5]	9,807 ( 5.3) [ 16.3]	9,783 ( -0.2) [ 17.2]	10,032 ( 2.5) [ 4.4]	3,440 ( 9.3) [ 21.1]	3,261 ( -5.2) [ 3.2]	3,709 ( 13.7) [ 5.0]	3,061 ( -17.5) [ 4.8]
非製造業 (Ex 船・電)	12,221 ( 2.5) [ 2.3]	11,600 ( -5.1) [ 0.3]	11,761 ( 1.4) [ 3.5]	12,344 ( 5.0) [ 4.2]	12,965 ( 5.0) [ 7.2]	4,445 ( 15.7) [ 15.4]	4,383 ( -1.4) [ 5.8]	4,117 ( -6.1) [ -0.1]	4,466 ( 8.5) [ 13.2]
官公需	6,907 ( 3.0) [ -10.1]	6,715 ( -2.8) [ 2.6]	6,310 ( -6.0) [ -10.8]	6,365 ( 0.9) [ -6.9]	6,077 ( -4.5) [ -11.0]	2,146 ( -3.2) [ -6.4]	2,110 ( -1.7) [ -7.3]	1,994 ( -5.5) [ -15.8]	1,973 ( -1.0) [ -9.6]
外需	25,221 ( 9.5) [ 54.1]	25,426 ( 0.8) [ 22.4]	28,817 ( 13.3) [ 43.1]	25,038 ( -13.1) [ 7.1]	23,708 ( -5.3) [ -6.8]	7,823 ( -5.9) [ -3.2]	7,059 ( -9.8) [ -13.5]	9,339 ( 32.3) [ 10.0]	7,310 ( -21.7) [ -13.9]
代理店	2,391 ( 0.6) [ 21.9]	2,328 ( -2.7) [ 8.9]	2,512 ( 7.9) [ 12.3]	2,588 ( 3.0) [ 7.8]	2,331 ( -9.9) [ -2.0]	750 ( -6.6) [ -4.9]	739 ( -1.5) [ -5.0]	738 ( -0.2) [ -13.8]	855 ( 15.9) [ 13.2]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工戸数は、総数で2,475戸(前年同月比12.7%減)となり、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では859戸の減少となった。

### 9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	818	15.5	24,978	9.7
・分譲住宅	1,070	32.1	18,524	7.7
貸家系・貸家	581	44.7	19,395	18.2
・給与住宅	6	25.0	1,309	131.7
総数	2,475	12.7	64,206	10.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

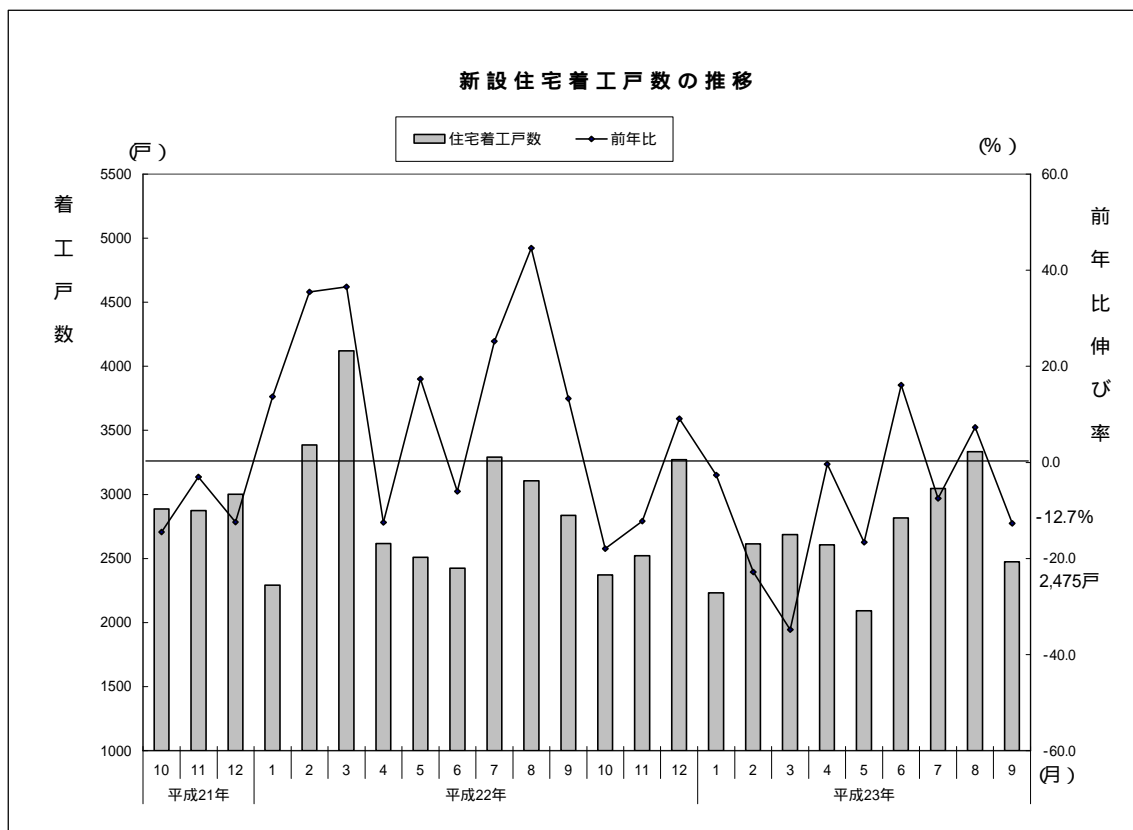
### 9月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	844	509	266	318	112	266	60	37	20	43	2,475
前月比	284	-280	-112	-345	-31	-235	-91	-9	-22	-18	-859

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～9月の新設住宅着工累計は、総数で16,372戸、前年同期比419戸の減少となった。利用関係別では「持家」が5,684戸(前年同期比1.2%増)、「分譲住宅」が5,882戸(同20.3%増)、「貸家」が4,746戸(同21.1%減)、「給与住宅」が60戸(同77.9%減)となった。



## 【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は540件で前年同月比15.6%の減少、請負金額は229億13百万円で同10.7%の減少となり、金額ベースでは11か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」が前年同月比62.7%、「独立行政法人等」同18.2%の増加となったものの、「神戸市」同39.6%、「兵庫県」同14.6%、「神戸市を除く市町」同9.8%、「国」同5.4%の減少となり、前年同月を下回った。

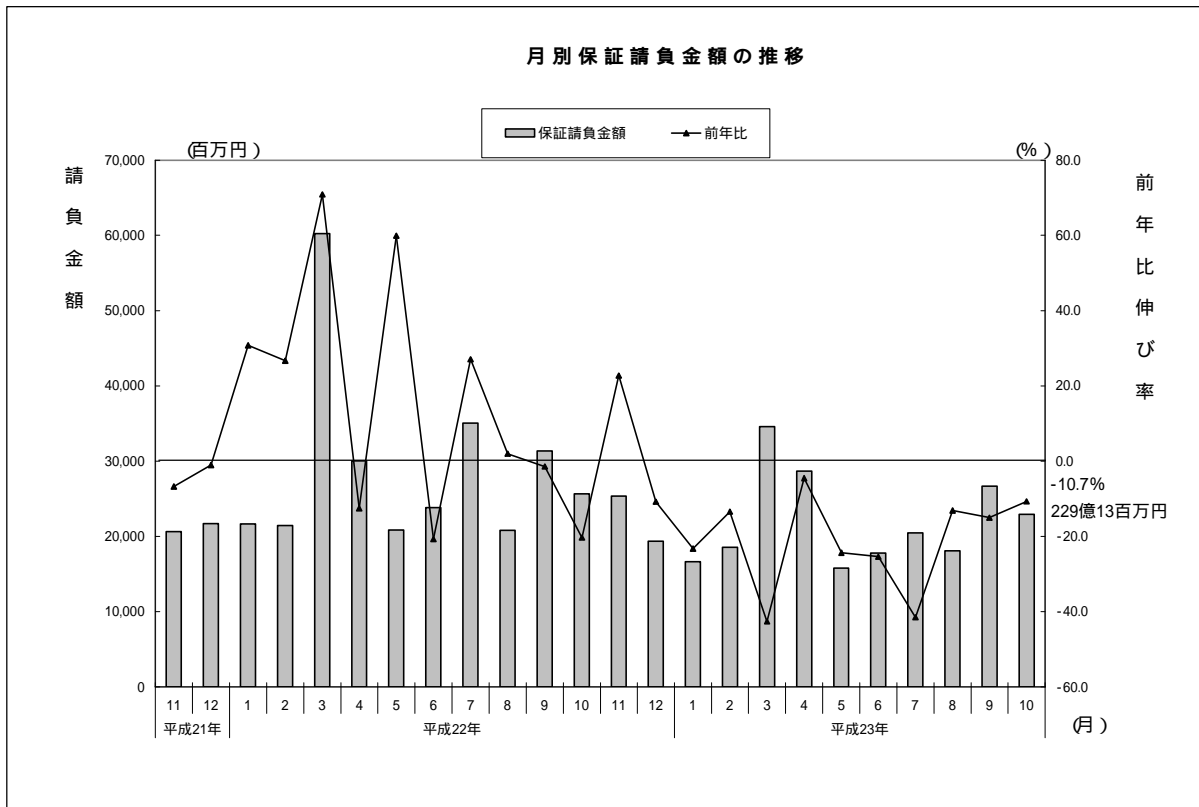
地域別(金額ベース)では、神戸市(前年同月比9.0%増)、東播磨(同3.4%増)で増加となったが、淡路(同47.8%減)、北播磨(同38.8%減)、阪神北(同28.3%減)、丹波(同28.2%減)、但馬(同17.5%減)、西播磨(同3.9%減)、中播磨(同1.1%減)、阪神南(同0.6%減)では減少となった。

### 10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	33( 8.3)	2,890( 5.4)	
独立行政法人等	17( 15.0)	1,239( 18.2)	新名神高速道路六石山トンネル工事
兵庫県	199( 23.5)	8,218( 14.6)	兵庫県立鈴蘭台高等学校耐震補強その他工事
神戸市	54( 14.3)	2,345( 39.6)	湊翔楠中学校新築工事、夢野中学校改築工事
神戸市を除く市町	207( 14.1)	6,071( 9.8)	明石市営西二見小池住宅立替2期(建築)工事、西脇南中学校改築工事
その他の団体	30( 50.0)	2,149( 62.7)	新神戸トンネル料金収受設備改修工事
合計	540( 15.6)	22,913( 10.7)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成23年9月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,758億円、前年同月比5.1%の増加で、総額ベースで21か月連続の増加となった。輸出は、船舶などが減少したものの、原動機、金属加工機械などが増加した。一方、輸入は、音響・映像機器(含部品)などが減少したものの、衣類及び同付属品、有機化合物などが増加した。

輸出は4,575億円(前年同月比3.3%増)と2か月連続で前年を上回った。

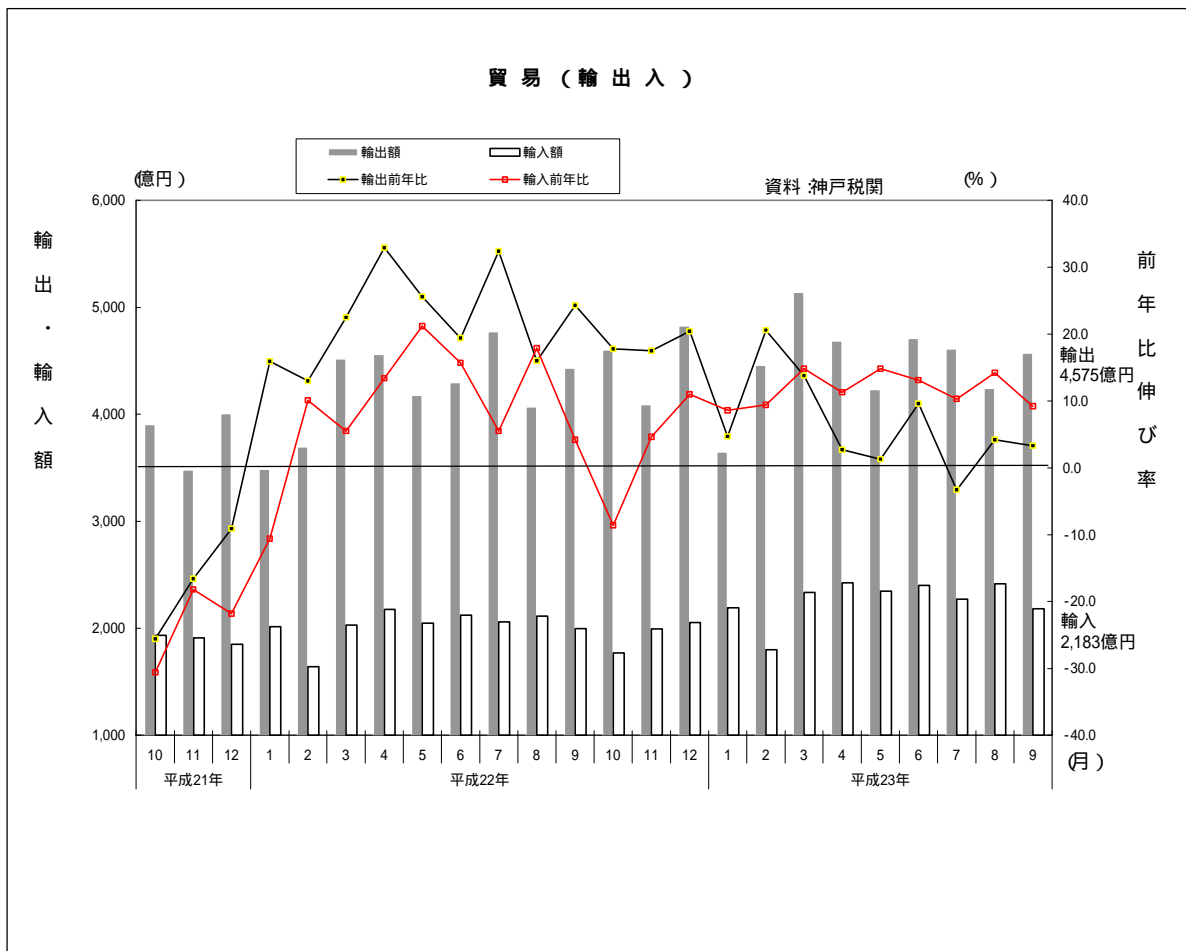
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比10.8%増、2か月連続プラス)、原動機(同23.6%増、3か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同9.0%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、プラスチック(同5.2%減、3か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(同3.1%増、3か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同4.6%増、2か月連続プラス)、中国(同4.4%増、2か月連続プラス)、EU(同14.5%増、15か月連続プラス)向けがいずれも増加した。

輸入は2,183億円(前年同月比9.2%増)と11か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比52.0%増、3か月連続プラス)、たばこ(同5.1%増、2か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同2.6%増、2か月ぶりにプラス)、有機化合物(同50.7%増、20か月連続プラス)がいずれも増加した。

主要地域(国)別では、米国(同7.5%増、2か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同9.2%増、11か月連続プラス)、中国(同14.0%増、5か月連続プラス)、EU(同4.7%増、2か月ぶりにプラス)向けがいずれも増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.5(今月より平成22年=100に変更)となり、前月比は0.3%上昇し、前年同月比は変わらずとなった。生鮮食品を除く総合指数は100.1となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.1%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.7となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は0.6%下落した。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が0.4%、自動車等関係費などの値下がりにより「交通・通信」が0.3%、理美容用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.5%、家事用消耗品などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.7%、医薬品・保健保持用摂取品などの値下がりにより「保健医療」が0.2%、それぞれ下落した。しかしながら、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が1.4%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.8%、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が0.8%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

### 10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.5	101.2	101.5	104.2	95.8	103.0	98.7	98.4	100.1	97.4	102.5	100.1	99.7
前月比	0.3	1.4	0.0	0.8	-0.7	0.8	-0.2	-0.3	0.0	-0.4	-0.5	0.0	-0.1
前年同月比	0.0	0.1	1.5	3.3	-4.1	0.1	-1.4	-1.2	0.5	-2.0	-1.0	-0.1	-0.6

(注)平成22年=100

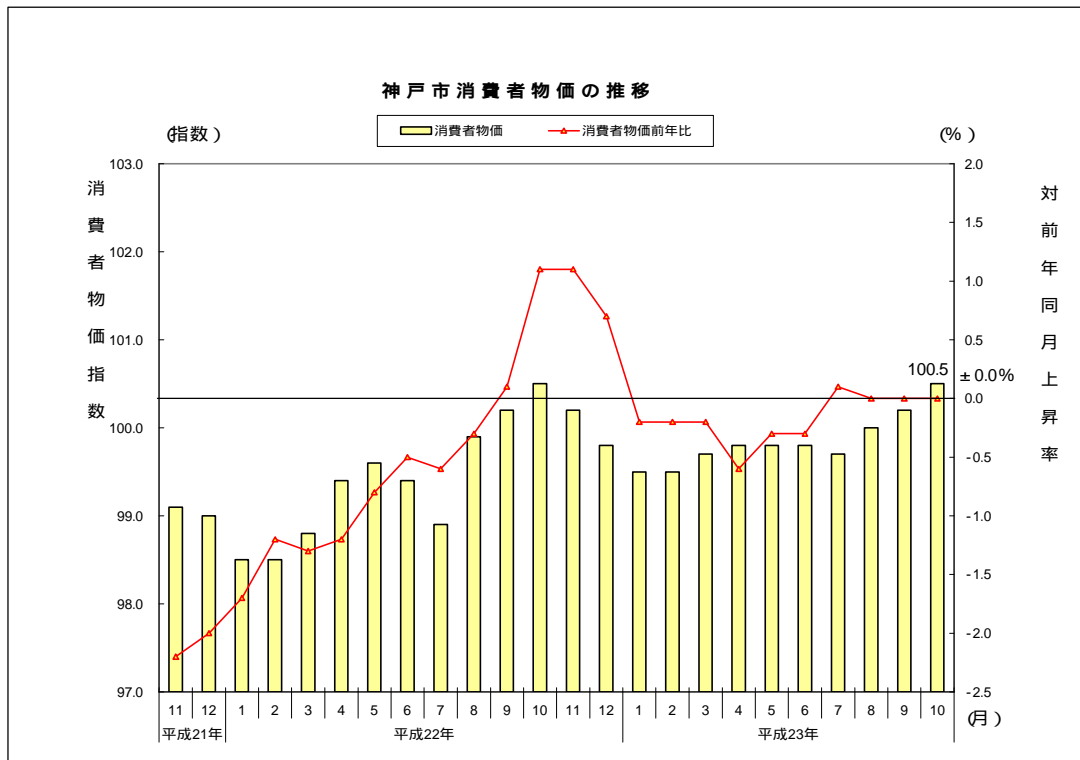
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

野菜・海藻 (+ 10.0%)・・・トマト、キャベツ、だいこん  
 ガス代 (+ 1.8%)・・・都市ガス代

#### 対前月比値下がりした主な品目

教養娯楽サービス (- 1.2%)・・・外国パック旅行、ビデオソフトレンタル料  
 自動車等関係費 (- 0.5%)・・・ガソリン、カーナビゲーション



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年10月の実績は次のとおり。

### 10月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	104.7	0.7	1.7
輸 出 物 価	81.7	0.7	1.9
輸 入 物 価	114.2	0.7	11.5

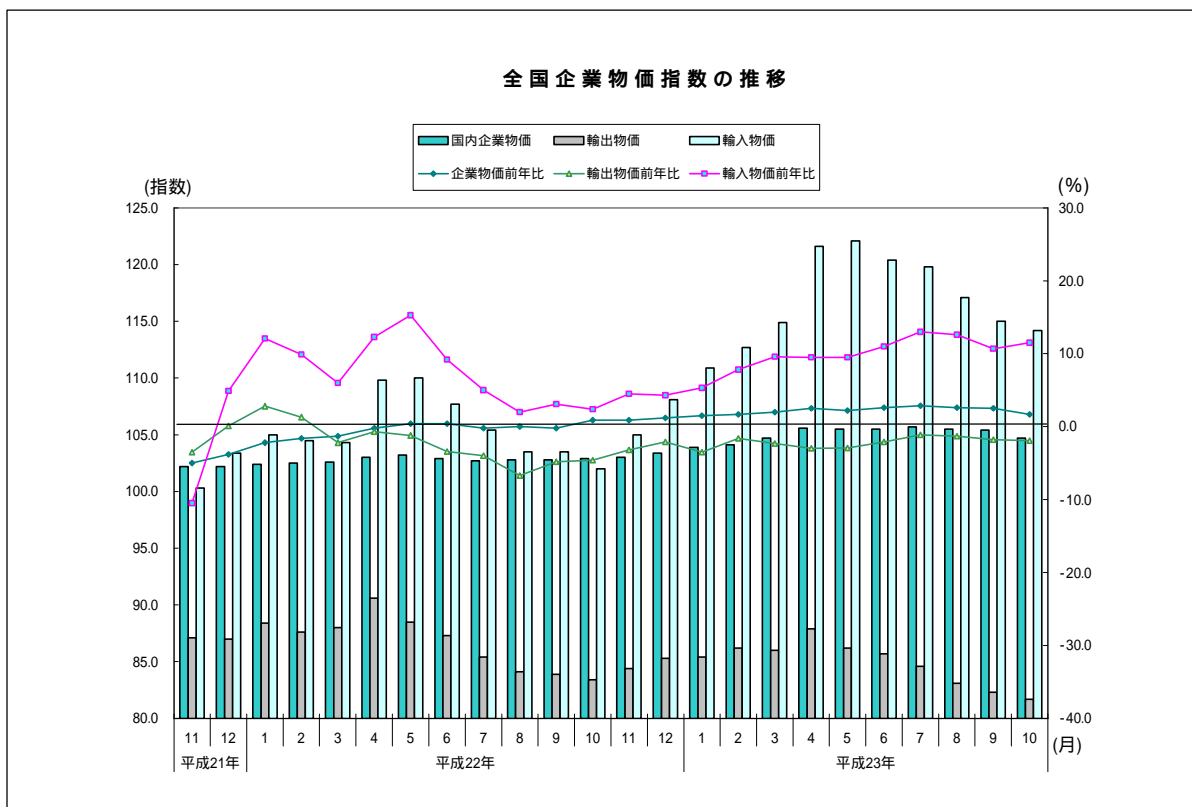
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類(前月比-8.8%<鉄くずなど>)、非鉄金属(同-5.9%<銅地金など>)、電力・都市ガス・水道(同-2.6%<業務用高圧電力など>)、石油・石炭製品(同-2.2%<ガソリン、ナフサなど>)、情報通信機器(同-0.9%<携帯電話機など>)、化学薬品(-0.7%<エチレンなど>)等が下落し、全体では前月比0.7%の下落となった。

前年同月比では1.7%の上昇となった。前年比での上昇は13か月連続となったが、上昇幅は3か月連続で縮小した。金属など国際商品相場の下落に加え、海外経済減速や円高の影響で、外需の伸びが鈍化して国内の需給が和らいだ。

輸出物価は、輸送用機器(前月比+0.7%<普通乗用車など>)、一般機械(同+0.2%<自動車用内燃機関・同部品など>)等が上昇したものの、金属・同製品(同-4.2%<銅地金など>)、化学薬品(同-3.4%<合成ゴムなど>)、電気・電子部品(-0.3%<電子機器用コンデンサなど>)等が低下し、円ベースでは前月比0.7%の下落(前年同月比-1.9%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+0.1%<原油、液化天然ガスなど>)等が増加したものの、金属・同製品(同-4.6%<銅鉱、白金地金など>)、その他産品・製品(同-0.9%<天然ゴムなど>)、化学薬品(同-0.5%<合成ゴムなど>)等が低下し、円ベースでは前月比0.7%の下落(前年同月比+11.5%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、26,609人(前年同月比2.9%増、前月比11.4%増)で、2か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は65,799人(前年同月比7.3%増、前月比7.7%増)で17か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.1%増で19か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同0.7%増で2か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同5.7%増で11か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比9.1%増)、製造業(同8.1%増)、運輸業、郵便業(同26.1%増)、卸売業、小売業(同0.4%増)、宿泊業、飲食サービス業(同22.9%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同12.0%増)、医療、福祉(同2.1%増)、サービス業(同8.6%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同21.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同10.0%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は、24,206件(前年同月比9.7%減、前月比0.5%増)で、2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は104,141人(前年同月比7.5%減、前月比0.6%減)で16か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比11.0%減で2か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同11.6%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比15.4%増で3か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比24.0%増で28か月連続して前年を上回ったが、在職者は同12.3%減で2か月ぶりに、事業主都合離職者は同21.4%減で21か月連続して、自己都合離職者は同11.0%減で16か月連続して、自営・他は同29.5%減で4か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、28,126人(前年同月比8.3%減)で、19か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.02倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.61倍で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.1%で前月より0.2ポイント改善、完全失業者数(原数値)は275万人(前年同月差65万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.3%(前年同月より1.8ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は43万人(前年同月差20万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年9月	26,609	1,878	5,044	359	1,827	3,726	195	432	682	1,846	977	5,606	3,189
前年同月比	2.9	9.1	8.1	21.6	26.1	0.4	41.3	10.2	10.0	22.9	12.0	2.1	8.6

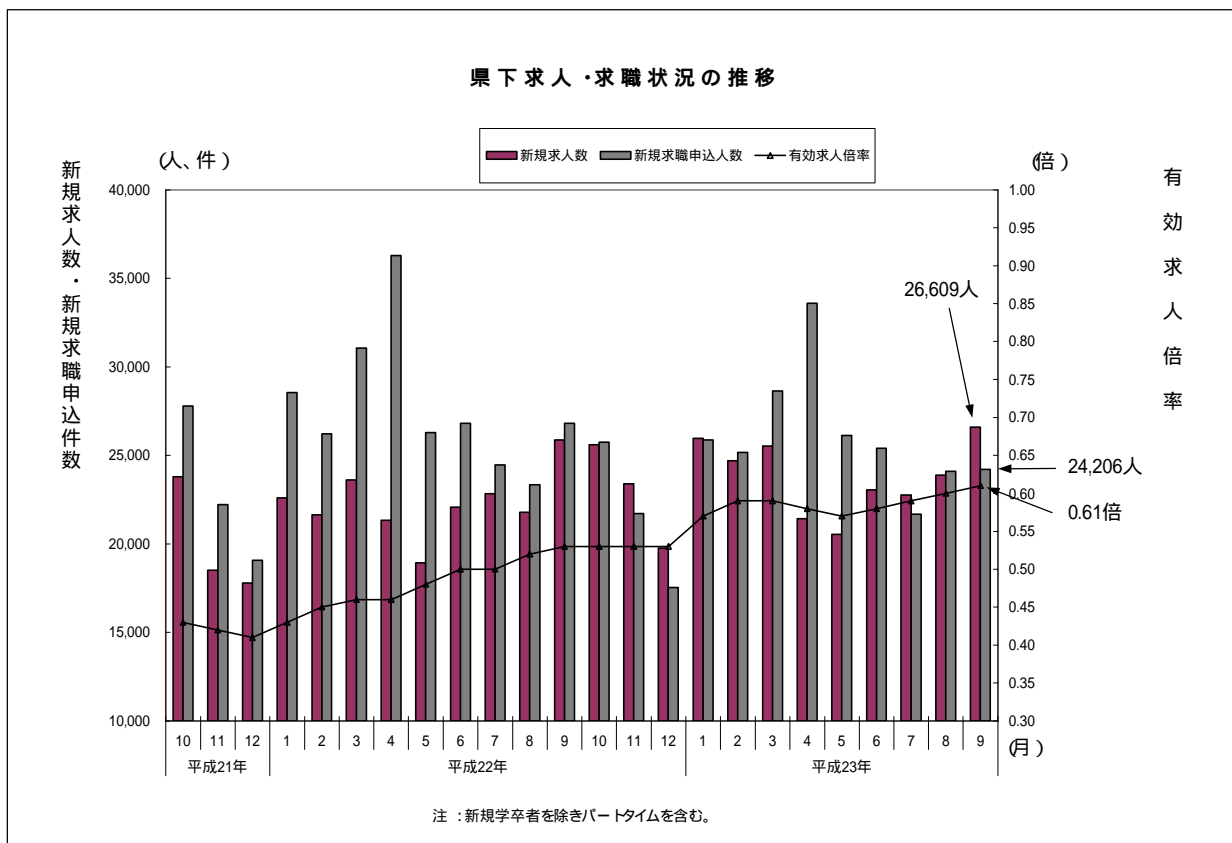
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/4-6	11/7	11/8	11/9
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.51	0.54	0.58	0.58	0.59	0.60	0.61
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	11.2	14.5	12.3	4.3	0.3	9.6	2.9
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	14.7	12.5	8.3	7.5	1.9	1.0	1.9
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.2	0.6	1.2	0.6	0.1	0.0	0.7
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	1.7	0.4	0.4	2.7	0.5	0.1

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部





## 【信用保証】

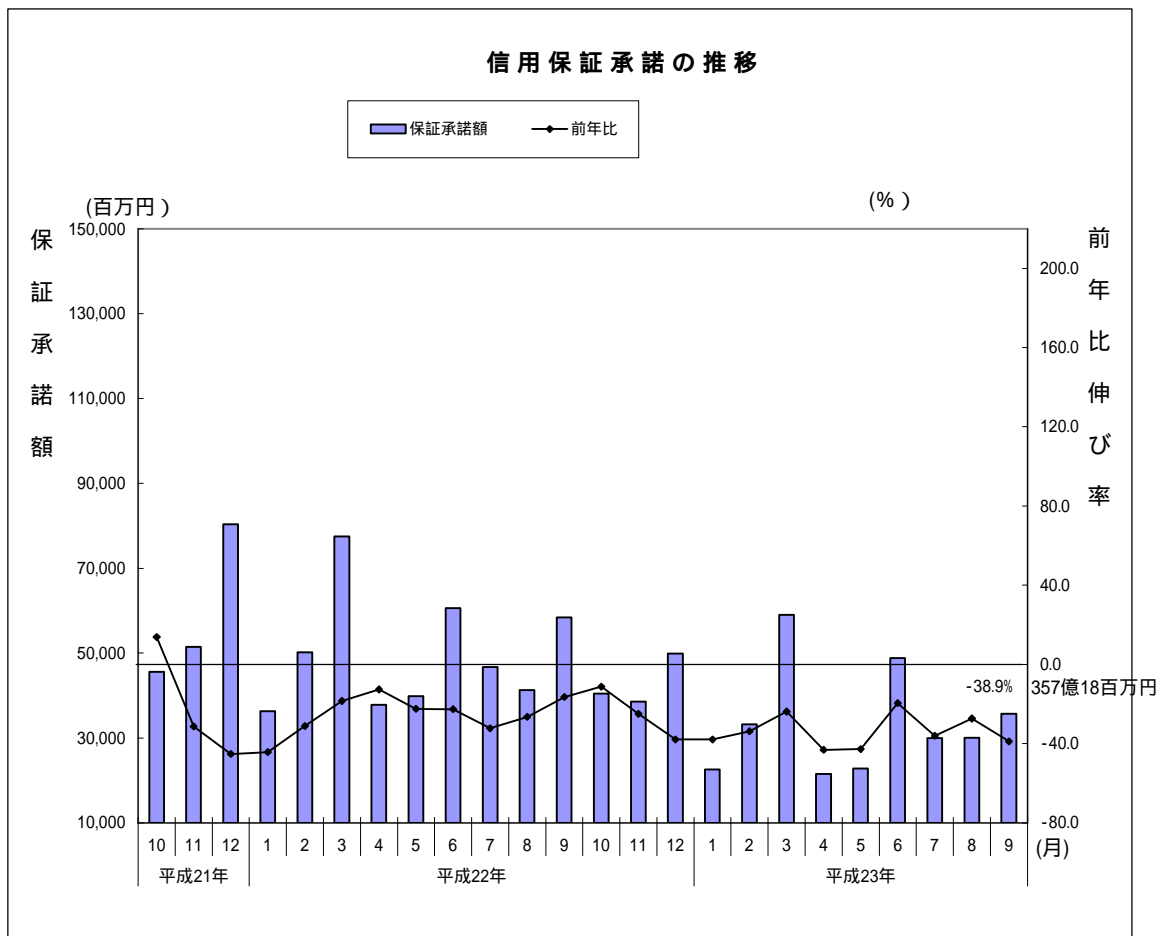
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で2,274件(前年同月比26.3%減)、金額は357億18百万円(同38.9%減)となり、23か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減がなお続いており、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,703百万円(前年同月比15.6%減)、「製造業」7,508百万円(同34.4%減)、「卸売業」7,149百万円(同35.5%減)、「建設業」8,896百万円(同39.8%減)、「サービス業」4,143百万円(同41.6%減)、「運送・倉庫業」1,577百万円(同43.3%減)、「小売業」4,002百万円(同47.4%減)、「飲食店」668百万円(同55.4%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、282件(前年同月比5.2%増)、39億99百万円(同27.9%増)となった。

9月末の保証債務残高は、116,161件(前年同月比1.8%減)、1兆4,109億円(同3.7%減)となった。



## 【金融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	138,666	1.6	55,957	2.7
地方銀行	23,618	2.5	19,513	2.2
第二地方銀行	30,582	2.7	19,712	0.1
信用金庫	78,444	1.5	38,454	0.1
その他	16,848	3.9	17,031	1.8
計	288,158	1.9	150,667	0.6

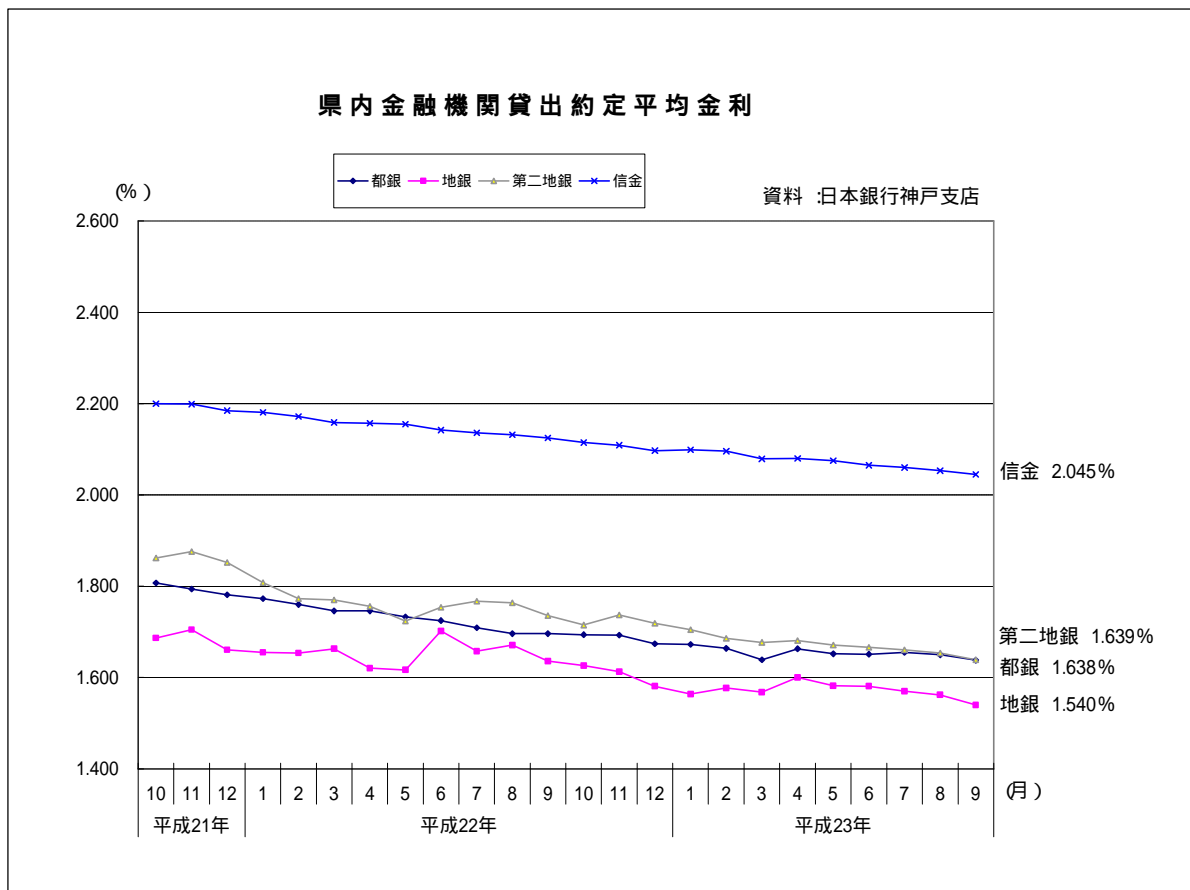
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。

9月の貸出は、前年を下回って推移している。

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.769%、前月比 0.012%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 10 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 56 件で前年同月比 24.3%減少、負債総額は 54 億 87 百万円で同 56.2%の減少となった。

倒産件数は前月と同件数となり、一方で負債総額は 6 か月連続で 100 億円を下回った。

「個人企業」の倒産が 30 件と過半数を超えて当月もトップ、また、「不況型倒産」が 45 件発生した。

なお、東日本大震災関連の間接的な原因による倒産が 1 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 42 件(全体の 75.0%)と前月比 3 件の増加で当月もトップ。2 番目は不良債権発生で 7 件、次いで放漫経営と赤字累積が共に 3 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 45 件と前月比 5 件の増加となり、構成比は 80.4%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が 17 件(全体の 30.4%)と最も多く、2 番目は建設業が 15 件、次いで金属・機械・電気業 7 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 30 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 11 件、「1 百万円以上」が 10 件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が 18 件でトップ、次いで「建設業」が 15 件、「製造業」が 8 件となった。

日本銀行神戸支店が 11 月 2 日に発表した「管内経済金融概況」では、「持ち直しが続いているが、そのペースは鈍化している」として判断を引き下げた。歴史的な円高推移が続く中において、上場大手を中心に生産拠点の海外シフト圧力が強まっており、また、ギリシャに端を発する EU 圏内諸国の動向および金融情勢、タイでの洪水被害による供給・生産体制への影響などの諸点が、大手から中小・零細企業までを含めた経済全体へ与えるインパクトが懸念される。従来から続いている、全般的な原材料高や、時期的には今後資金需要が高まる年末年始を迎えるため、今まで以上に中小・零細企業を中心として、その動向への注視が必要とされる。

10 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	4	-1	5	-2	金属・機械・電気	7	9	-2	7	0
過小資本	1	7	-6	0	1	化学・薬品	1	0	1	0	1
連鎖倒産	7	4	3	1	6	ゴム・皮革・ケミカル	0	0	0	2	-2
赤字累積	3	1	2	2	1	食品	5	10	-5	11	-6
販売不振	42	39	3	65	-23	建設	15	14	1	20	-5
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	17	16	1	15	2
その他	0	1	-1	1	-1	運輸・通信他	11	7	4	19	-8
合計	56	56	0	74	-18	合計	56	56	0	74	-18

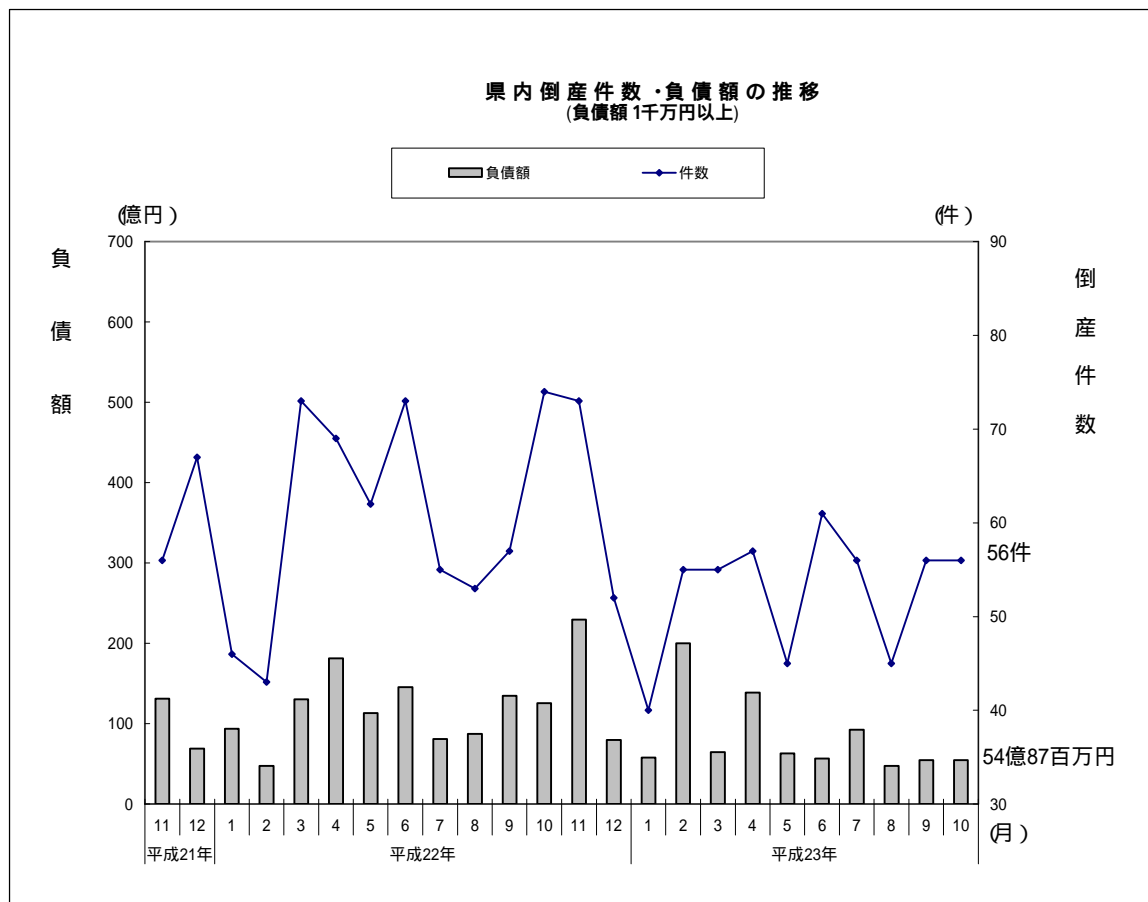
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2
23年 8月	45	15	9	7	10	0	2	2
23年 9月	56	17	22	4	10	2	0	1
23年 10月	56	19	17	5	11	2	2	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	r 97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月	p 94.3	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
10月					229	-10.7	3.2			
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	r 4,244	4.2	r 2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	p 4,575	3.3	p 2,183	9.2
10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7					
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	100.1	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	100.0	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	100.3	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	100.4	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	100.3	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	100.1	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.5	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.9	-0.3	99.7	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.2	0.1	99.9	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.5	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.8	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	96.9	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	97.2	-1.1	r 100.2 p 100.5	0.0 0.0	99.9	0.0
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	r 105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	p 104.7	1.7				56	55	19	17	20
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値